



1 基本理念及び目指す姿

「県民一人ひとりの生涯学習の基盤となり、知の集積と循環によって、新たな知恵や活力を生み出し、県民の成長と地域の賑わいに貢献する図書館を目指します」

2 3つの行動指針

「基本理念及び目指す姿」に到達するため、次の3点を行動指針とします。

【行動指針1 ときめく図書館】

本との出会いの場・情報の結節点として知の循環を促進し、乳幼児から高齢者まで、県民の生涯学習に対する意欲が喚起される空間とサービスを提供します。

【行動指針2 たよれる図書館】

県民の学びと希望の実現を支援する資料を集積し活用を図るとともに、県内図書館全体のサービス充実に必要な連携を強化します。

【行動指針3 つながり・ひろがる図書館】

デジタル化やICTの活用等により本を基盤とした図書館サービスを県民が等しく享受できる環境づくりを進めるとともに、外部資源との連携・協働を強化し多様な県民ニーズへの対応と図書館サービスの充実を図ります。

3 3つの視点

「行動指針」を進めるにあたり、次の3つの視点を常に持って実践します。

【視点1 戦略的な情報発信】

県内図書館の取組み等に関する情報が、必要とする県民に確実に届くよう戦略的な情報発信を展開します。

【視点2 変化への対応】

人口減少やICT・デジタル化の急進、新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式など社会の環境変化やその変化の先を見据え、図書館が果たすべき役割を的確に実行します。

【視点3 図書館機能を活かした施策への貢献】

県教育振興計画や県総合発展計画等に掲げる施策展開に積極的に貢献します。